

概要	○ 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。 ○ 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 本日（1日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約5,100名態勢で活動。
----	--

本日 （1日） の 自衛隊の 主な活動	【主な活動部隊等】 陸自第42即応機動連隊（北熊本・熊本）、陸自第8特殊武器防護隊（北熊本・熊本）、陸自第8高射特科大隊（北熊本・熊本）、陸自第5地対艦ミサイル連隊（健軍・熊本）、陸自第8飛行隊（高遊原・熊本）、陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自西部方面衛生隊（健軍・熊本）、陸自第8施設大隊（川内・鹿児島）、陸自西部方面特科連隊（北熊本・熊本）、第43普通科連隊（都城・宮崎）、陸自西部方面航空隊（高遊原・熊本）、第12普通科連隊（国分・鹿児島）、海自艦艇5隻（ぶんご、げんかい、えんしゅう、水中処分母船5号、いせ）、空自第8高射隊（高良台・福岡）、空自第2移動通信隊（春日・福岡）、空自第3移動警戒隊（春日・福岡）、空自第7高射隊（築城・福岡）、空自第1輸送航空隊（小牧・愛知）等 【人命救助活動】 ○ 商業施設（イオンモール熊本）において、陸自第42即応機動連隊の隊員、海自救助犬及び空自救助犬で捜索を実施。 【給水支援活動】 ○ 本日（1日）も、八代市や宇城市をはじめとする市町の計39箇所において、給水車51両により、引き続き給水支援活動を実施。 【入浴支援】 ○ 陸自第8後方支援連隊が、熊本市にてシャワーによる入浴支援を実施。 ○ 海自多用途支援艦「えんしゅう」に積載している水を利用し、海自呉基地所属隊員を中心として、宇城市三角港において、シャワーによる入浴支援を実施。 ○ 海自掃海母艦「ぶんご」に積載している水を利用し、海自佐世保基地所属隊員を中心として、八代市八代港において、シャワーと浴槽による入浴支援を実施。 ○ 空自第1輸送航空隊のC-130×2機が、空自千歳基地、空自三沢基地、空自入間基地、空自小松基地、空自那覇基地で保有するシャワーセットを集めて回り、熊本県の陸自高遊原分屯地へ輸送を実施。 【連絡員の派遣状況】 ○ 連絡員について、熊本県庁等に、最大23箇所・延べ約70名派遣。	活動の様子（8月1日）  商業施設にて消防等と捜索を行う 隊員と救助犬  人工透析に必要な水の不足を受け 緊急の要請があった病院への給水 支援  海上保安庁と連携した給水支援  海自「ぶんご」と入浴支援準備 にあたる海自隊員  シャワーキットを運ぶ空自隊員  シャワーセットを搭載した 空自C-130
---------------------------------	---	---